

日本華人教授会第 14 回年会国際シンポジウム

【開催の趣旨】 2017～2018 年は、日中関係にとって大きな節目を迎える時期にあたります。まず、今年の日中全面戦争勃発 80 周年、と同時に日中国交正常化 45 周年の年です。そして来年度は、日中平和友好条約締結 40 周年を迎えます。一方、世界の情勢は相変わらず不確実性を増幅しており、朝鮮半島の核問題なども含めて、日米中関係がどのように展開されていくのか、大きな関心事となっております。こうした流れの中で、東アジアの地域統合はどう在るべきか・いかなる方向に進むべきかが問われます。今までの国民国家と国際関係のあり方のみならず、地域秩序、新国家間関係、および第四次産業革命で示される新たな地球規模の人類史的な意味合いなど、複眼的な視点で深く吟味しなければなりません。こういった問題意識を念頭に、この度、日本華人教授会は第一線の専門家にお集まり頂き、多様な議論を交わし、東アジア統合のあり方を巡る今現在とその先行きを読み取るべく、今シンポジウムを企画いたしました。皆さま方がふるってご参加されることを期待しております。

【テーマ】 : 不確実性の時代における東アジア協力の在り方

【主催】 : 日本華人教授会議

【協賛】 : 株式会社丹京

【開催日時】 : 2017 年 10 月 14 日 (土) 13:00 ~ 17:00

【開催場所】 : 東京大学本郷キャンパス・山上会館 (アクセスマップご参照)

【参加費】 : 無料

【申込み お問い合わせ先】 : 日本華人教授会議 事務局 水本順子

Email: cjac@bz01.plala.or.jp FAX : 03-3518-9771

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-6

日本分譲住宅会館 4 階

プログラム

◆開会式と基調講演 (13:00-13:50)

司会 : 宋立水 (明治学院大学教授)

開会挨拶 : 廖赤陽 (日本華人教授会議代表・武蔵野美術大学教授)

来賓挨拶 : 薛劍 (中華人民共和国駐日本大使館 公使参事官)

基調講演 : 丹羽宇一郎 (日中友好協会会長・日本国前駐中国特命全権大使)

「激動する世界と日中関係のこれから」

◆**第一セッション：「一帯一路」と東アジア経済協力（13：50－15：10）**

司会：朱炎（拓殖大学教授）

報告：

1. 朱建栄（東洋学園大学教授）
「朝鮮半島の非核化と日米中のイニシアティブ」
2. 杜進（拓殖大学教授）
「東アジアの経済統合の諸枠組みについて」
3. 服部健治（中央大学教授）
「日本から見た東アジア経済統合へのアプローチ」

パネリスト

1. 李瑞雪（法政大学教授）
2. 凌星光（福井県立大学名誉教授）

質疑応答

— 休憩(15:10-15:30) —

◆**第二セッション：IOT 時代の新産業革命の展望（15：30－16：50）**

司会：李春利（愛知大学教授）

報告：

1. 金堅敏（富士通総研出席研究員）
「IOT 時代の新産業革命：日中イノベーション活動の比較」
2. 陳文西（会津大学教授）
「ビッグデータとヘルスケア
ゴールド マイニングからデータマイニングへ」
3. 李志東（長岡技術科学大学教授）
「IOT 時代のエネルギー革命、自動車革命と管理制度革命：
中国の実践と展望」

パネリスト

1. 崔龍洙（自治医科大学教授）
2. 李睿栋（NICT 研究員）

質疑応答

TEL FAX : 03-3518-9771
Email : cjac@bz01.plala.or.jp

日本華人教授会第14回年会国際シンポジウム

参加連絡票

日時 2017年10月14日(土) 2017年10月14日(土) 13:00~17:00
会場 東京大学本郷キャンパス山上会館
(東京都文京区本郷7-3-1、地下鉄丸ノ内線/大江戸線本郷三丁目駅)

上記シンポジウムに参加します。

ご芳名 : _____

ご所属 : _____

ご連絡先 : _____

懇親会 シンポジウム終了後、18:30頃から2時間ほどの予定で開催します。
会費は3000円前後(食べ放題・飲み放題付き)を、当日会場で集め
させて頂く予定です。

懇親会に 参加 ・ 不参加 します。

(該当する方に ○印 を付記してください。)